

= ニュースレター (2015年5月号) =



取締役・エンジニアリング事業本部プラント・施設事業担当の笠原 伸介（かさはら のぶゆき）です。

プラント事業部は、従来から得意分野としてきたケミカル、水処理分野はもちろんのこと、最近ではIT関連や環境エネルギー分野にも力を入れており、地球温暖化防止、環境負荷低減を目的としたプラント設備についても数多くの実績が出来てきました。さらに、2016年の電力自由化、2017年のガス自由化、その先の水素社会に向けて、ビジネスチャンスを見逃さぬように東レエンジニアリンググループでのGR（グリーンイノベーション）推進プロジェクトにて、仕込みビジネスを展開中です。

この様に、私たちはエンジニアリング技術の提供を通じて、CSRの推進により社会的責任を果たす集団として今後も成長していきます。

“最近のトピックス”

2015年4月 産業用500kW太陽光発電設備の売電収入における投資メリット

大阪府内某社様設備工事

優遇税制や売電収入の面などから太陽光発電はまだまだメリットがあります。当社の特長を生かして設置する産業用500kW設備について売電収入における投資メリット試算例を紹介いたします。初期投資額115百万円、発電買取価格27円/kWh、枚方市を例として計算しますと、20年間総売電収入326.7百万円、20年間総収支（利益）211.7百万円、初期投資回収期間6.96年（メンテナンス費用は含まず。）となります。関西電力管内では、平均8%の電気料金の値上げが実施されるため、この太陽光発電設備の設置は、その対応策として効果があります。ぜひお声掛け下さい。（担当部署：エンジニアリング事業本部プラント事業部）

2015年4月 JIPM（日本プラントメンテナンス協会）第43回全国設備管理強調月間記念行事各地区大会へエントリー

弊社は、6月に開催される標記の改善事例発表会地区大会に、東レ(株)のご支援を頂き活動事例を発表いたします。

★北陸事業所＝北陸地区大会（6月9日）

「繊維TMI活動[設備トラブルゼロへの挑戦]
～テトロン延伸機トラブルゼロへの取り組み～」
（東レ(株)石川工場工務保全室と協同発表）

★滋賀事業所＝関西地区大会（6月19日）

「設備故障ゼロへの取組み～攻めの保全～」

★愛媛事業所＝中国・四国地区大会（6月26日）

「ムダな蒸気ゼロを目指したスチームとラップの管理強化」

（担当部署：エンジニアリング事業本部滋賀事業所）

2015年4月 機能性フィルム研究会での企画

弊社は「機能性フィルム研究会」に入会しております。

本研究会は、新たな機能・価値を付与したフィルムプロダクツの創出を目的に、各種講演や技術交流会が行われており、コンバーティング設備事業の拡大を目指す弊社機器事業本部では最新技術動向や業界

情報の収集、ネットワーク拡大に努めております。4月の例会では弊社が講演の企画に携わり、親会社である東レエンジニアリング(株)に「機能性フィルムのためのWET/DRY成膜技術について」、長岡産業(株)に「段差痕対策クッション巻芯と有機透明導電フィルムの開発」と題して講演していただきました。

このような活動を通じて、今まで以上にコンバーティングに精通した事業本部を目指していきます。

（担当部署：機器事業本部）